

データでみる大正大学

2010

平成22年4月1日▶平成23年3月31日



大正大学

## 安定的な大学運営をめざして

本学は、平成20年に中期マスタープランを策定、直ちに実行に移し2ヶ年を経過しました。そこで受験者数の長期低落傾向の中で、それを食い止め反転させるための、教育改革と施設整備の両面から、英断をもって数々の施策を実行に移してきました。その結果、21年、22年、23年度の受験者数は2割づつ増加、危機的状況を脱し、安定化への道筋が見えてきました。しかしながら改革は道半ばであり、将来展望を盤石なものにするためには、さらなる改革が求められることは、いうまでもありません。

平成22年度は、3月に完成をみた7号館（教育・研究棟）で授業を開始、さらには3号館を解体、平成24年3月の完成をめざし工事が進捗しております。新3号館は地下1階、地上5階、総床面積9500平方メートルに及ぶ本学最大の構築物になります。そして新図書館棟と回廊でつながれることになっております。新3号館には17年振りに復活した仏教学部及び総合佛教研究所が入りますが、これは本学建学の要である仏教思想の研究と教育の一層の充実をめざすものであります。さらには、新学部として独立した表現学部が入り、その実習の場として存分なスペースを割くなど、新学部の発展を期すと共に、建学の精神に基づいた本学の可能性を大いに追及していくところであります。

一方、本年6月には新6号館（体育棟）が完成、本学のスポーツ力向上のための環境整備をいたしました。その結果が直結したわけではありませんが、本学の伝統スポーツであるカヌー部と学生カバディ界をリードする本学カバディ部において、本年はめざましい成果をあげることができました。すなわち、中国の杭州で開催されたアジア大会において、カヌー部で金と銅、カバディ部で銅メダルを獲得、本学始まって以来の快挙をあげたのであります。これらの活躍は学生達にとって、学園生活の充実に大きな刺激を与えることになり、教育効果にも良好な影響を与えるものと信じます。

一方、財務関係においては、新3号館においては引当金の使用など、財務基盤に大きな負担とならないことに注意しながら環境整備を進めておりますが、関係諸経費の増加は少なくありません。そこで学納金の一部小幅な値上げや、人件費はじめ管理経費を抑制し、バランスのとれた健全な財務状況になるようにつとめています。

近年、大学に問われているものは、学士力の向上と共に就業力であります。学士力の向上については、引き続き中期マスタープランに基づきその伸張を計っていきたいと思っています。一方、就業力、すなわち社会に出てから力を発揮できる基礎的な力のことであります。受験者数の向上をめざす以上、就業力の向上は当然問われてくるものであります。そして、社会貢献も含めて数々の社会的要請に応えていくには、教職員がそれぞれの役割と責任を十分に自覚しながら、緊密な連携をとっていくことが欠かせません。その意味で中期マスタープラン2ヶ年の成果を十分に点検し、次年度へとつないでいくことが肝要であろうかと考えています。

# Topics

## ■「キャンパス整備状況」

### 新6号館(体育棟)竣工

平成22年6月に新6号館（体育棟）が竣工しました。

新6号館（体育棟）は地上2階建てで外壁はコンクリート打放しの機能的なデザインで、内部には最新のスポーツアリーナが備わっています。

卓球部・空手部・剣道部・柔道部・カバディ部の各部が利用しています。



## 「特色ある教育推進プログラム助成金」制度がスタート

学士力・教育力向上に繋がる教育活動の取り組みに対する学内助成制度を創設しました。初年度となる平成22年度は7件のプログラムが採択されました。特に表現学部の「ねぶた」製作を通じて創造力・実行力を兼備した学生育成を図るプログラムでは、表現学部の1年生及び教員・スタッフ全員が9つのグループに分かれて製作に係りました。9月10日の「光とことばのフェスティバル」で「ねぶた」に火が入り、間にその姿が浮かぶと、グループ全員がひとつになり大いなる達成感に包まれました。



学長賞 大正ガネーシャ



光とことばのロード

# 資金収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

## 収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,829,864	3,824,458	5,405,700
手数料収入	127,490	144,750	△ 17,260
寄付金収入	711,077	846,147	△ 135,070
補助金収入	436,100	471,978	△ 35,878
資産運用収入	41,530	41,306	223
事業収入	3,921	12,023	△ 8,102
雑収入	206,607	225,700	△ 19,093
前受金収入	951,200	1,075,195	△ 123,995
その他の収入	3,969,878	3,919,800	50,077
資金収入調整勘定	△ 1,189,902	△ 1,218,240	28,338
前年度繰越支払資金	2,454,215	2,454,215	—
収入の部合計	11,541,980	11,797,335	△ 255,354,454

## 支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,752,899	2,713,171	39,727
教育研究経費支出	1,285,526	1,194,637	90,889
管理経費支出	619,070	546,455	72,614
施設関係支出	1,406,227	1,352,516	53,711
設備関係支出	179,940	170,715	9,225
資産運用支出	3,643,835	3,413,790	230,044
その他の支出	441,391	435,011	6,380
[予備費]	(26,915)	18,084	—
資金支出調整勘定	△ 207,555	△ 212,438	4,883
次年度繰越支払資金	1,402,561	2,183,475	△ 780,914
支出の部合計	11,541,980	11,797,335	△ 255,354

注記 予備費(26,915千円)の使用額は次のとおりである。  
 退職金支出 24,299千円  
 (管理)印刷製本費支出 1,336千円  
 (管理)雑費支出 1,280千円

資金収支計算書は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、全ての収入・支出の内容を明らかにし、且つ支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

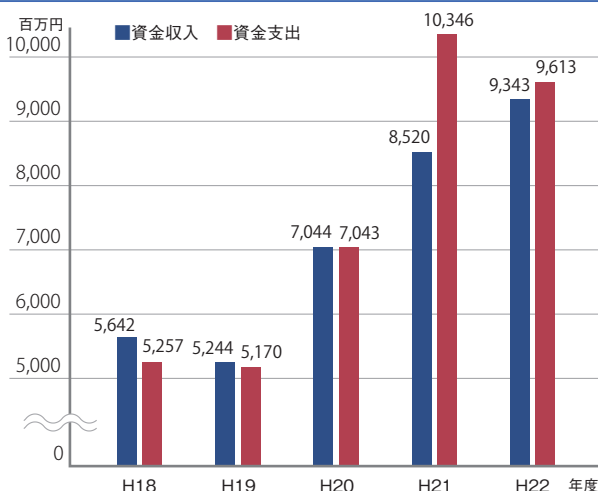
資金収入と資金支出の差額である次年度繰越支払資金は、21億8,347万5,992円となり予算を7億8,091万4,989円上回りました。

収入面では、ほぼすべての収入科目で予算を上回る収入がありました。その中でも、入学検定料収入は受験者が前年比22.9%増えたことにより1,600万円の増、寄付金収入では90周年記念事業勧募で、初年度でありながら1億3,719万円もの浄財をいただいたこと、補助金収入で、国庫補助金が予算より3,584万円も増えたことが大きなものであります。

支出面では逆に、すべての勘定科目で予算額を下回った結果となりました。

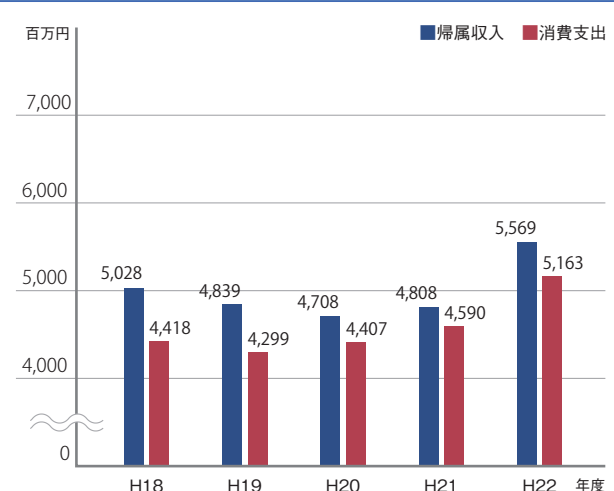
支出が予算額を下回ったのは、例えば人件費で事務のアウトソーシング化により、予測値以上に残業時間の減少ができたなど、個々の努力によるものであります。支出の抑制が、学生サービスや教育・研究の低下になっては本末転倒ですので、この点には細心の注意を払い日々の活動を行っております。

## 資金収支の推移



(注) 資金収支の推移の「資金収入」は資金収支計算書の「収入の部合計」から「前年度繰越支払資金」を控除した金額であり、「資金支出」は「支出の部合計」から「次年度繰越支払資金」を控除した金額です。

## 消費収支の推移



## 消費収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

### 消費収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,829,864	3,824,458	5,405
手数料	127,490	144,750	△ 17,260
寄付金	711,077	849,358	△ 138,281
補助金	436,100	471,978	△ 35,878
資産運用収入	41,530	41,306	223
事業収入	3,921	12,023	△ 8,102
雑収入	206,607	225,700	△ 19,093
帰属収入合計	5,356,589	5,569,576	△ 212,987
基本金組入額合計	△ 1,390,068	△ 992,238	△ 397,829
消費収入の部合計	3,966,521	4,577,337	△ 610,816

### 消費支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,720,586	2,694,042	26,544,277
教育研究経費	1,685,526	1,632,783	52,742
管理経費	664,070	595,045	69,024
資産処分差額	216,100	241,208	△ 25,108
[予備費]	(2,616)	—	42,383
消費支出の部合計	5,328,666	5,163,079	165,587
当年度消費支出超過額	1,362,145	585,742	—
前年度繰越消費支出超過額	3,517,991	3,517,991	—
翌年度繰越消費支出超過額	4,880,137	4,103,733	—

注記 予備費(2,616千円)の使用額は次のとおりである。  
 管理) 印刷製本費支出 1,336千円  
 管理) 雑費支出 1,280千円

消費収支計算書は、当該会計年度における消費収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状態が健全であるかどうかを示すもので、計算目的の違いはありますが、いわば企業会計の損益計算書にあたるものであります。

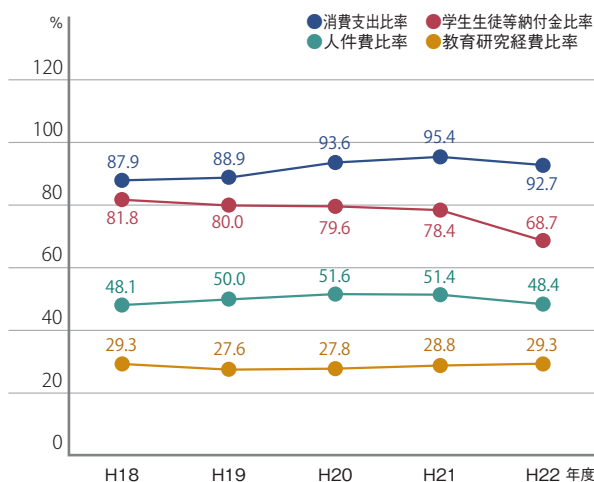
帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、事業収入及び雑収入の法人に帰属する負債とならない収入で資金収入の当該科目とほぼ同額であります。

帰属収入55億6,957万6,380円から基本金組入額を控除した消費支出に充当することができる消費収入は45億7,733万7,607円となりました。

消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費で、51億6,307万9,888円となり、予算を下回りましたので、平成22年度決算における帰属収支差額は黒字で4億649万6,492円、消費収支差額は5億8,574万2,281円の支出超過となりました。

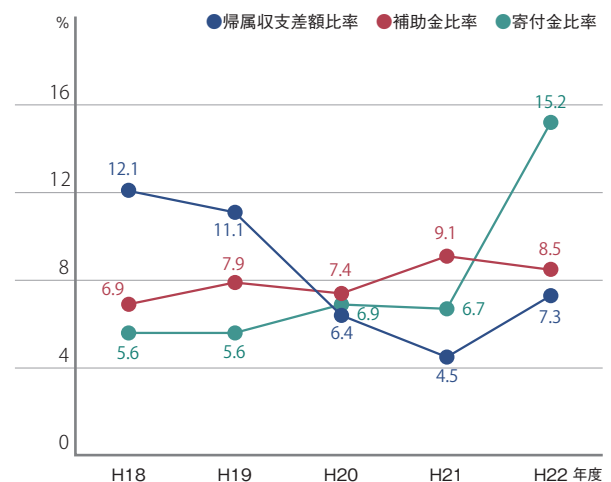
消費支出が支出超過となったのは、校舎建築に伴い基本金組入額が9億9千万円であったことが大きな要因です。

## 消費収支関係財務比率の推移 ①



消費支出比率=消費支出/帰属収入  
 学生生徒等納付金比率=学生生徒等納付金/帰属収入  
 人件費比率=人件費/帰属収入  
 教育研究経費比率=教育研究経費/帰属収入

## 消費収支関係財務比率の推移 ②



帰属収支差額比率=(帰属収入-消費支出)/帰属収入  
 補助金比率=補助金/帰属収入  
 寄付金比率=寄付金/帰属収入

## 貸借対照表

平成23年3月31日

### 資産の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	18,966,034	18,444,229	521,804
有形固定資産	15,450,455	14,655,614	794,841
その他の固定資産	3,515,578	3,788,615	△ 273,037
流動資産	2,472,013	2,659,810	△ 187,797
合 計	21,438,047	21,104,040	334,006

### 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部	2,540,845	2,613,335	△ 72,489
固定負債	1,210,575	1,228,023	△ 17,447
流動負債	1,330,269	1,385,311	△ 55,041
基本金の部	23,000,935	22,008,697	992,238
消費収支差額の部	△ 4,103,733	△ 3,517,991	△ 585,742
合 計	21,438,047	21,104,040	334,006

### (注1)

(単位：千円)

減価償却額の累計額の合計	本年度末	前年度末	増 減
	6,510,942	6,518,986	△ 8,044

### (注2)

(単位：千円)

基本金未組入額	本年度末	前年度末	増 減
	24,800	203,095	△ 178,295

※基本金未組入額は翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額です。

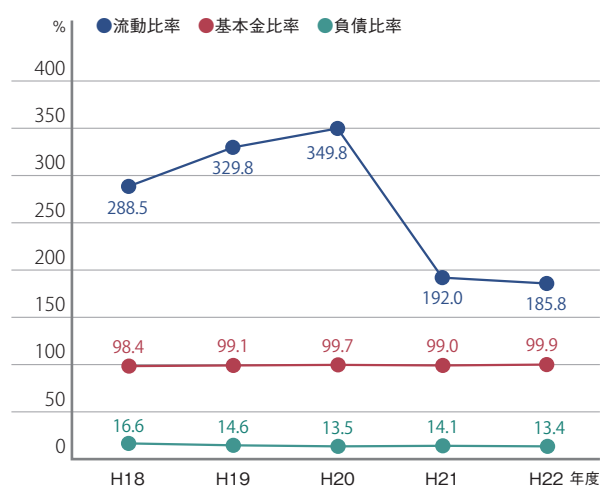
有形固定資産は、キャンパス総合整備計画に伴うクラブ棟の竣工及び新3号館の建築に係る準備費用、また、図書購入の増など資産の増加、対して、旧3号館取壊しによる除却及び減価償却による減を加減した結果、7億9,484万1,196円の増加となりました。

その他の固定資産は、鴨台会よりの寄付金の社債運用による増、新クラブ棟、新3号館建設費等支払いの為、引当特定資産のうち大学整備費引当特定預金・資産の取り崩しによる6億4,908万6,150円減を加減した結果、2億7,303万7,150円の減となりました。

流動資産は、設備費支払いによる現預金減を主に1億8,779万7,331円の減となりました。

以上の結果、平成22年度の正味資産は188億9,720万2,167円となり、平成21年度より4億649万6,492円の増加となりました。

## 貸借対照表関係財務比率の推移



流動比率 = 流動資産 / 流動負債      基本金比率 = 基本金 / 基本金要組入額  
 負債比率 = 総負債 / 自己資金 (= 基本金 + 消費収支差額)

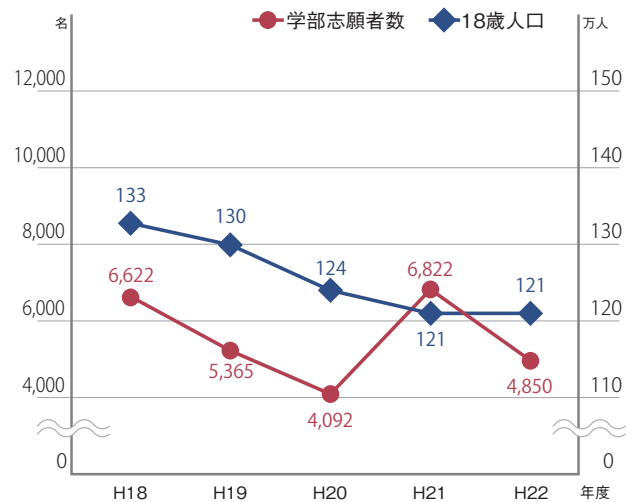
### 学部・学科別志願者数・合格者数・入学者数

平成22年度

(単位：名)

学 部	学科・専攻	志願者数	合格者数	入学者数
仏教学部	仏教学科	199	176	116
	計	199	176	116
人間学部	アーバン福祉学科	357	296	153
	(ソーシャルワーク専攻)	(211)	(172)	(92)
	(環境コミュニティ専攻)	(146)	(124)	(61)
	臨床心理学科	731	215	102
	人間科学科	946	436	206
	(人間科学専攻)	(703)	(280)	(125)
	(教育人間学専攻)	(243)	(156)	(81)
	計	2,034	947	461
文学部	人文学科	699	255	115
	歴史学科	972	310	159
	計	1,671	565	274
表現学部	表現文化学科	946	289	159
	計	946	289	159
合 計		4,850	1,977	1,010

### 学部志願者数・18歳人口の推移



※H21年度までは延べ人数で表示。H22年度は実人数で表示。

### 学部・大学院別定員・学生数等

平成22年5月1日現在

#### 学部学生数

(単位：名)

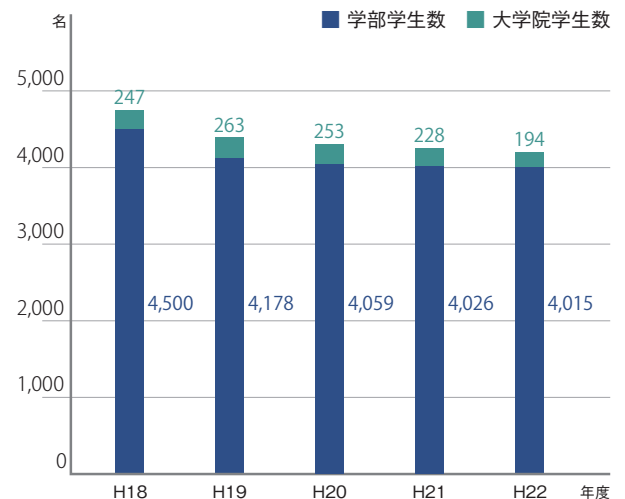
学 部	入学定員	収容定員	編入学定員	学生数
仏教学部	100	100	0	116
人間学部	395	2,055	36	2,321
文学部	235	1,210	9	1,419
表現学部	130	130	0	159
合 計	860	3,495	45	4,015

#### 大学院学生数

(単位：名)

研 究 科	博士前期課程 (修士課程)			博士後期課程		
	入学定員	収容定員	学生数	入学定員	収容定員	学生数
仏教学研究科	40	80	55	7	21	28
人間学研究科	48	96	53	6	18	7
文学研究科	50	100	38	12	36	13
合 計	138	276	146	25	75	48

### 学生数の推移



### 教職員数

平成22年5月1日現在

#### 教員数 (専任教員)

(単位：名)

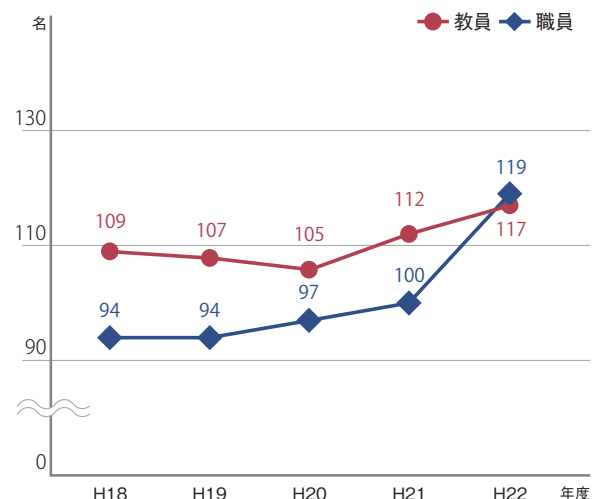
	教授	准教授	専任講師	助教	合計
仏教学部	14	6	3	0	23
人間学部	30	15	3	1	49
文学部	25	4	2	0	31
表現学部	9	2	2	1	14
合 計	78	27	10	2	117

#### 職員数

(単位：名)

	専任	常勤嘱託	合計
	75	44	119

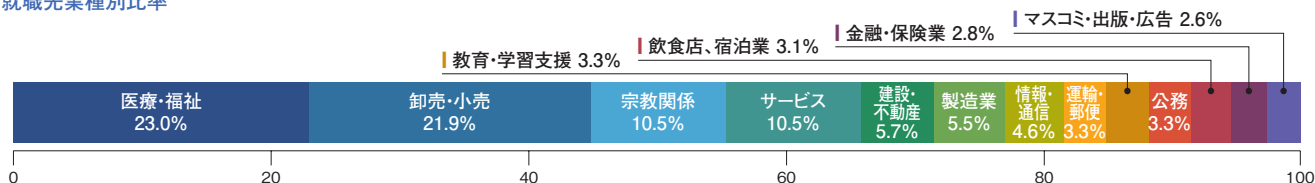
### 教職員数の推移



# 就職状況

平成23年4月30日現在

## 就職先業種別比率



## 主な就職先

<b>医療、福祉業</b>	(国) 千葉大学 千葉大学医学部附属病院 / (学) 埼玉医科大学 埼玉医科大学病院 / (医財) 新生会 大宮共立病院 / 新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院 / (財) 日産厚生会 佐倉厚生園 / (社福) 桶川市社会福祉協議会 / (社福) 東松山市社会福祉協議会 / (社福) 中野区社会福祉協議会 / (社福) 東京都社会福祉事業団 / (社福) 川崎市社会福祉事業団 / (社福) 日本心身障害児協会 / (社福) とちぎ健康福祉協会 / (社福) 東京都知的障害者育成会 / (社福) 東京都福祉事業協会 / (社福) 横浜市福祉サービス協会 / (社福) 恩賜財団 東京都同胞援護会 / (社福) 賛育会 / (社福) 至誠学舎立川 / (社福) 清和園 / (社福) 東京サレジオ学園 / アースサポート (株) / (株) ケアサービス / (株) ケア 21 / (株) ニチイ学館 / ワタミの介護 (株)	<b>製 造 業</b>	(株) アシックス / イワツキ (株) / キング工業 (株) / 中外工業 (株) / (株) 雪国まいたけ
<b>卸 売、小 売 業</b>	(株) あさひ / アライ電機産業 (株) / 茨城トヨタ自動車 (株) / (株) 大木 / (株) 大塚家具 / (株) オリンピック / (株) カインズ / (株) 河内屋 / (株) 銀座マギー / (株) 銀座山形屋 / (株) コメリ / (株) 島忠 / (株) セイジョー / 日本瓦斯 (株) / 日本トイザラス (株) / (株) ピックカメラ / 富士機材 (株) / (株) ヤオコー / (株) ユニクロ / (株) ヨドバシカメラ / (株) ライフコーポレーション介護 (株)	<b>情 報 通 信 業</b>	(株) インテリジェンス / (株) エヌ・ティ・ティ・ソルコ / サン・エム・システム (株) / (株) フォーカスシステムズ / (株) 平和テクノシステム
<b>サ ー ビ ス 業</b>	アルファクラブ武蔵野 (株) / 国際警備保障 (株) / (株) 埼玉冠婚葬祭センター / (株) スタジオアリス / (株) セノン / マンパワー・ジャパン (株) / 郵便局 (株) / (特) 日本年金機構 / (社) 日本空手協会 / (株) 図書館流通センター	<b>運 輸、郵 便 業</b>	東日本旅客鉄道 (株) / 北総鉄道 (株) / 小田急電鉄 (株) / 東京地下鉄 (株) / 伊豆急行 (株) / 全日本空輸 (株) / 佐川急便 (株) / 大和物流 (株) / 日本梱包運輸倉庫 (株) / 郵便事業 (株)
<b>建 設、不 動 産 業</b>	(株) 一条工務店 / 新英興業 (株) / 積水ハウス (株) / 日本電設工業 (株) / 東日本ハウス (株) / ポラス (株) / ゆとりフォーム (株) / (株) エイブル / (株) 木下工務店 / 明和地所 (株) / 住友不動産建物サービス (株)	<b>教 育、学 習 支 援 業</b>	埼玉県教育委員会 / 入間市教育委員会 / (国) 総合研究大学院大学 / (学) 金沢学院大学 / 金沢学院東高等学校 / (学) 国際学園 / (学) 大正大学 / (財) 茨城県教育財団 / (財) エム・オー・エー美術・文化財団 / 宇都宮市立東図書館
		<b>公 務</b>	法務省 / 防衛省 陸上自衛隊 / 防衛省 航空自衛隊 / 防衛省 自衛隊 / 八街市役所 / 警視庁 埼玉県警察本部 / 千葉県警察本部
		<b>宿 泊、飲 食 業</b>	日本ビューホテル (株) / (株) ロイヤルパークホテル / (株) 王将フードサービス / (株) 銀座ルノアール / (株) 幸楽苑 / (株) シャノアール / ユーシーシーフードサービスシステムズ (株)
		<b>金 融、保 険 業</b>	西武信用金庫 / 館山信用金庫 / 城北信用金庫 / 巢鴨信用金庫 / 新潟信用金庫 / 鹿児島相互信用金庫 / 日本生命保険 (相) / 越後おぢや農業 (協) / テラル越前農業 (協)
		<b>マ ス コ ミ 業</b>	(株) 安寿 / エイヴェックス・グループ・ホールディング (株) / (株) 学情 / (株) 第一広栄社 / (株) テイリースポーツ案内広告社 / 日東エージェンシー (株)

## 役員等の状況

平成23年3月31日現在

### 理 事

理 事 長：杉谷義純

学 長：多田孝文

常任理事：若槻繁隆、岡本宣丈、吉田宏哲

相 談 役：里見達人

理 事：榎本昇道、粕谷利通、疋田精俊、石上善應、小澤憲珠

監 事 山田俊和、五十嵐賢二、鈴木中也、安孫子虔悦

評 議 員 29名 (うち6名理事兼務)

顧 問 4名



### 学校法人 大正大学 総務部

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1  
 TEL 03-3918-7311 FAX 03-5394-3037  
 E-Mail info@mail.tais.ac.jp